



豊橋創造大学大学院 健康科学研究科オープンラボ

人々のライフスタイルは多様化し、人々の健康決定要因の数が増えるだけでなく、因子間の交互作用も複雑化しています。こうした健康決定要因には、コロナ禍以前では想定していなかったものが出現しています。このように、私たちが遭遇し得る未知の健康問題の解決には、1つの専門領域の知識では対応できず、特定の専門領域の周辺領域すなわち学際的な知識や視点が求められるようになってきています。

豊橋創造大学大学院健康科学研究科では、健康に影響を及ぼす様々な生活環境因子を俯瞰し、多角的な視点で健康の維持増進や健康寿命の延伸に係る諸課題を解決に導く能力を培うプログラムと教授陣を配置しています。こうした能力の獲得は、現在の問題はもちろん将来直面するであろう未知の健康問題に取り組むための強力なツールになります。

さてこの度、本研究科で取り組んでいる「未知の健康課題」の解決に向けた取り組みである「研究」の一端と教育プログラム(学修支援制度を含む)を紹介する「オープンラボ」を開催します。是非この機会に本研究科で行われている研究に直接触れていただき、健康科学研究を身近に感じていただければと考えています。そして、人々の健康を支え、健康寿命延伸に寄与するべく未知の課題の取り組み、将来の健康科学分野を共に牽引しようではありませんか。大学院を知りたい、研究について興味のある方など、多くの参加をお待ちしています。

副学長・大学院健康科学研究科長 後藤 勝正

看護学領域

11.2(土) 11.9(土)

時間／10:00～11:30(90分)

会場／豊橋創造大学 E棟2F E21教室

理学療法学領域

11.12(火) 11.19(火)

時間／19:00～20:30(90分)

会場／豊橋創造大学 E棟2F E21教室

申し込み方法

参加申込フォーム

右記セミナー申込フォームから必要事項をご入力ください。
その際に申し込いただいたメールアドレスへの返信をもちまして、申込完了となります。

Mail

kenkoukagaku@sozo.ac.jp

上記アドレスに「参加希望講座日」「氏名」「電話番号」を
記載してMailしてください。

電話

TEL.0532-54-9725 お電話にてお申込ください。

申し込み締切日 開催日の2日前まで



<https://entry.s-axol.jp/sozo/?f=142>

参加方法

後日参加申込された方にお知らせします。参加案内はセミナー開催の2日前までにお送りします。
届かない場合は下記までお問い合わせください。

■お問合せ先

豊橋創造大学 入試センター

TEL:0532-54-9725 Mail:kenkoukagaku@sozo.ac.jp

本セミナーに関する質問事項等があれば、上記のお問い合わせ先まで連絡をお願いいたします。

[諸連絡]いただいた個人情報、は、本企画運営の目的にのみ使用いたします。

—— 全体テーマ ——

人々の健康を支える健康科学研究

11/2(土)

看護学領域 対面方式

時間

10:00～11:30(約90分)

大学院での学びについて／20分
教育講座／60分
事務連絡／10分

教育講座

実践に繋げるエビデンスに基づく看護技術 藤井 徹也

エビデンスに基づく看護技術は、医療が高度化に伴い特に必要とされている。これまでは、「筋肉内注射」「浣腸」「排便の循環への影響」「清拭」などの看護技術のエビデンスを研究してきた。これらの研究から、身体への影響および安楽性など指標とした結果を得ている。現在は、エコーの臨床での活用に関して研究を進めている。今回は、最新の看護技術のエビデンスについて概説する。

11/9(土)

看護学領域 対面方式

時間

10:00～11:30(約90分)

大学院での学びについて／20分
教育講座／60分
事務連絡／10分

教育講座

独居高齢者の療養生活支援システム 蒔田 寛子

我が国は少子高齢化、家族構成の変化等から、家族の支援が得られない者が増加している。特に医療ニーズがあり、ADLが低下した状態で在宅生活を営む高齢者には様々な立場の支援者が必要である。医療ニーズがあるADL低下高齢者の独居療養生活を継続するための支援について、保健医療福祉領域の支援機能の視点から、機能充足型の支援システムを探索し、独居療養者のQOL向上に寄与することを目的とし研究に取り組んだ。研究結果を踏まえ、独居療養生活と独居療養生活支援について解説し、ソーシャルキャピタルと多職種連携を前提とした療養生活支援について紹介する。

11/12(火)

理学療法学領域 対面方式

時間

19:00～20:30(約90分)

大学院での学びについて／20分
教育講座／60分
事務連絡／10分

教育講座

細胞外刺激による骨格筋機能の改善 後藤 勝正

我々の生体機能は、生体内外から負荷される刺激を受容し、その刺激に応じて適応・変化を示す。こうした適応・変化は、遺伝子発現の変容による細胞内タンパクの種類や量の変化あるいは既存のタンパク機能の変化によってもたらされる。リハビリテーションやトレーニング効果は、こうした細胞内タンパクの変化を引き起こすことで、生体機能を回復あるいは向上させる。一方で、刺激の強さや種類が適切でなければ、逆に生体機能は低下することになる。リハビリテーションやトレーニングは必ずしも良い結果だけを生むわけではないという事実は、生体機能を維持・向上させる「適切な刺激」は未知であることを示し、世界の研究者により解明へ向けた取り組みが行われている。そこで、生体機能適応のメカニズムと今後の研究の展望について概説する。

11/19(火)

理学療法学領域 対面方式

時間

19:00～20:30(約90分)

大学院での学びについて／20分
教育講座／60分
事務連絡／10分

教育講座

運動器理学療法領域のセラピストが知っておくべき 歩行障害に対する理学療法の基礎知識 金井 章

歩行障害に対する理学療法の基礎としての歩行分析のポイントを確認するとともに、股関節外転筋力低下、膝関節伸展可動域低下についてモデル解析の結果から検討し、その評価や理学療法について考えたい。また、臨床では3次元動作解析装置を用いた歩行分析が行われているところはまだまだ少ない。そこで、臨床現場で容易に活用できる、動画を用了評価についても紹介する。

▼入試日程

出願期間

試験日

社会人特別入試・一般入試 一期

2024年 9月23日(月)～2024年10月 7日(月)

2024年10月12日(土) 午後

社会人選抜入試・一般入試 二期

2024年 11月27日(水)～2024年12月 9日(月)

2024年12月14日(土) 午後

社会人選抜入試・一般入試 三期

2025年 1月17日(金)～2025年 1月31日(金)

2025年 2月 6日(木) 午後

社会人選抜入試・一般入試 四期

2025年 2月 5日(水)～2025年 2月21日(金)

2025年 3月 6日(木) 午後

入学前には
研究室訪問
もしくは
要相談

■お問合せ先 豊橋創造大学 入試センター TEL:0532-54-9725 Mail:kenkoukagaku@sozo.ac.jp